

学校法人神戸滋慶学園 姫路医療専門学校  
令和4年度 第1回学校関係者評価委員会 議事録

1. 開催日時: 2022年6月18日(日)13:00~14:30

2. 開催方法: オンライン(zoom)

3. 参加者:

学校関係者評価委員

正木 昭次 業界関係者(一般社団法人兵庫県臨床工学技士会理事)

浅沼 由紀 業界関係者(一般社団法人兵庫県作業療法士会副会長)

田中 種男 地域関係者(姫路市城巽地区自治会長)

奥見 俊美 保護者代表(作業療法士科保護者)

大塚 将史 卒業生代表(作業療法士科 2020年度卒業生)

学校側参加者

小川 恭一 姫路医療専門学校 校長

笠原 由美子 姫路医療専門学校 事務局長

今在家 信司 姫路医療専門学校 教務部長

竹内 美保 姫路医療専門学校 作業療法士科 学科長

橋本 沙代子 姫路医療専門学校 言語聴覚士科 専任教員

三村 佳祐 姫路医療専門学校 臨床工学技士科 専任教員

欠席者:学校関係者評価委員

瀬戸川 孝 高等学校関係者(元兵庫県立松陽高等学校校長)

※6月10日姫路医療専門学校にて学校関係者評価委員会と同じ説明を行い、評価を頂いた。

4. 内容

- (1) 委員のご紹介
- (2) 校長挨拶
- (3) 令和3年度の自己点検・自己評価結果の報告
- (4) 質疑応答・講評

5. 令和3年度自己点検・自己評価報告

2021年度本校が実施した自己点検・自己評価の内容を下記10項目について項目ごとに説明した後、各委員からの質疑応答、ご意見を頂き、評価をして頂いた。

1. 教育理念・目的・人材育成
2. 学校運営
3. 教育活動
4. 学修成果
5. 学生支援
6. 教育環境
7. 学生募集と受入れ
8. 財務

9. 法令順守

10. 社会貢献・地域貢献

## 5. 質疑応答

田中委員: 国家試験合格のためには、読解力が必要だと思う。そういった能力を身に付けるために読書講座を実施してはどうか。読書後の感想をグループでディスカッションし、話す力も身につくと思う。

正木委員: 臨床工学技士の国家試験は、工学と臨床の2軸で勉強する必要がありますが、誤答率はどちらが高いですか?

→三村委員: 工学系です。対策として、今年度から学習サポートを週に1回実施しています。

正木委員: 現在勤務中の卒業生を見ていると、学校で学習した内容が現場で経験する内に理解してきている様子で、在学中に現場に即した教育がしっかりされていると思う。卒業生を教育活動に活用するためには、同窓会以外で、卒業生がいつでも学校に来校できる仕組みづくりをされたら良いと思う。また、先日実習前授業を見学して、学生たちは模擬患者さんへ視線を合わせて丁寧に対応できていると思う。授業だから出来ているのではなく、普段からの指導の賜物だと思う。とても感心した。

田中委員: 卒業生が誇りを持ってこの学校を卒業してよかったと思える卒後研修会などがあればOBの団結が強くなるのではないかと。国家試験に不合格だった学生さんにもサポートされているので、いいと思う。

大塚委員: 国家試験や就職サポートがしっかりされていて卒業生として嬉しく思う。まだ1、2期生だけですが、卒業生の業界からの評価、評判が気になります。

→小川校長: 個人情報との関係で、就職先への卒業生のアンケートは難しいが、実習巡回時等様々な機会に確認をしていきたいと考えています。

奥見委員: 娘は皆さんにお世話になりながら何とか勉強がんばっています。まだ1年生なので、これからだと思います。ご指導をよろしくお願いします。

浅沼委員: サポートが必要な学生を早期にみつけて手厚いサポート体制があるのが素晴らしいと思う。教育の卒業生の活用は重要だと思う。就職後に同期や先生とつながりやすい仕組みがあると、頼れる場所があっているのではないかと。卒業生が学校に来ている姿を在校生が見れば、学校は卒業して終わりではないことがわかり、良いと思う。職能団体として、専門職の卒後教育や団体加入後の学習について、在学中に示すと次の目標が持てるようになると思う。

## 6. 総括

今在家教務部長: 国家試験の合格率を昨年より上げることはできましたが100%ではありませんでした。1回勝負の国家試験に合格するために教員は細かく支援してきていますが、尚、一層専門教育をしている学校として、全員を合格に導けるよう指導していきます。本日は有難うございました。